

# 因

五年 画数 6  
 筆順 口 冂 因 因  
 オン イン  
 クン よれる

成り立ち



人がベッドの上に、両手両足を広げて寝ているすがたを表した字です。

両手両足を広げているのは安心して寝ていることを表しています。安心して寝ていられるのは、「頼り」に「でき」るものがあるからであって、それで、「よりどころ」という意味を表した字です。「よりどころ」という意味や、単に「よる」という使い方をします。

「そのようになる根本的な『よりどころ』」のことを「原因」と言いますが、この「原因」という意味に使われることが多くあります。【例】要因、勝因。

また、「古くからの」という意味に使われることもあります。【例】因習、因襲。

使い方

▽同じ時間勉強しても、集中力の度合いに因り、効果に大変なちがいがあります。

▽友だちのお父さんのご好意に因り、夏休みの一週間を海で楽しむことができました。

▽成功の原因は、努力の一語につきます。

熟語例

▽原因（どんなできごとでも、そのようになるには、なるだけの理由がいくつか考えられます。その理由の中で一番「大本」となる「よりどころ」のこと。原には「大本」という意味があります。）

▽因果（原因と結果。くだもの（果）ができる（結）ためには、種（因）があるように、どんなできごとでも原因がある、ということです。）

▽要因（主要な原因。主な原因）

▽勝因（勝った原因。【例】「敗因」）

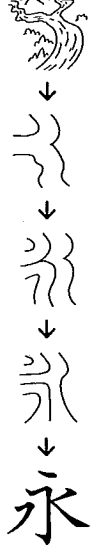
▽因習（古くからの習わし。特に、悪い習わし）

▽因襲（古いしきたりやきまりを守り、それを受けつぐこと。襲は「うけつぐ」こと。また、「因習」の意味にも使われます。）

# 永

五年 画数 5  
 筆順 一 亅 丿 永  
 オン エイ  
 クン ながい

成り立ち



二つの川が合わさって、一つの川になって流れるところを表した字です。

川は流れて行く先ざきで、ほかの川と合わさって、水かさ増し、どこまでも流れて行き、絶えることがありません。川が「ながく」続くことを表した字です。「ながい」という意味に使われます。【例】永続、永日。

「長い」が空間について使われるのに対し、「永い」は時間について使います。

また、「限りがない（とこしえ）」という意味に使われます。【例】永遠、永久、永住、永代。

使い方

▽遠い町に引っこしすることになった友だちがあいさつに来て、「永い間仲よくしてくれてありがとう。君のこゝと永久にわすれないよ」と言った時、ぼくは思わずなみだがこぼれました。

熟語例

▽永続（永く続くこと。【例】お父さんは永続勤務で、会社からひょうしょうされました。）

▽永日（永い日ということ、春の、のどかな一日のことを言います。）

▽永久（永く久しいという意味で、限りなく続く時間のことを言います。「いつまでも」ということ。）

▽永遠（永く遠い先という意味で、「将来いついつまでも」ということ。「永久」と同じ意味です。）

▽永住（永久に住むこと。その土地に死ぬまで住むという意味です。【例】おじさんはアメリカに永住することになりました。）

▽永代（永い代にわたって、という意味。「永世」とも言います。「永久」「永遠」と同じ意味です。）